

那珂市スポーツ推進計画のパブリックコメント結果及び対応について

1 パブリックコメントの概要

(1) 募集期間

令和2年12月11日（金）～令和3年1月10日（日）

(2) 閲覧及び募集方法

- ・ 那珂市ホームページの掲載
- ・ 那珂市役所1階市民相談室での閲覧
- ・ 那珂市役所瓜連支所での閲覧
- ・ 那珂市立図書館での閲覧
- ・ 那珂総合公園での閲覧

(3) 募集の結果

- ・ ホームページのアクセス 102件
- ・ 意見提出人数 1人
- ・ 意見数 5件

2 意見の概要及び対応（回答）

No.	意見の概要	対応（回答）
1	スポーツを始める初期の段階である「3～5歳の時期」にいろいろなスポーツを体験することが「基本方針1みんなでスポーツ」「基本方針2未来につなげるスポーツ」の根幹となる。そこでは、市のスポーツ少年団が重要な役割を果たせると考える。各スポーツ少年団が1か月に1回程度、「親子スポーツ教室（仮）」を開催することでスポーツの機会を提供でき、小学生になったときの入団者の確保につながる環境が作れる。	ご提案のような新たな活動により、団員確保や少年団の維持・充実が期待できると考えます。市としましても、「基本方針2未来につなげるスポーツ」の「基本施策③スポーツ少年団の活動の充実」の主な取組にあるように、情報発信の強化等により支援を継続してまいります。
2	スポーツ少年団のデメリットとして、指導者の資格取得や団員の参加費などの経済的負担が大きい。日本スポーツ協会から脱退して、那珂市独自のスポーツ少年団を立ち上げてはどうか。	ご意見のようなご負担があることも承知しております。しかしながら、市独自のスポーツ少年団の立ち上げの予定はございません。引き続き、各機関との連携を図ってまいりたいと考えております。

3	<p>中学校部運動活動の適正な運営について、平日・土日の部活動をすべてスポーツ少年団の活動とすれば労働時間の問題が解決するのではないかと。また、中学校の先生もスポーツ少年団の指導者として活動することで少年団の指導が中学校の部活動に引き継がれ、那珂市独自の指導体系「那珂メソッド」を作り上げることができるのではないかと。</p>	<p>中学校の運動部活動については、教員の働き方改革（業務負担の軽減）の側面から、国では、休日の部活動を「学校」から「地域・民間団体」へ移行する方針を出しております。ご指摘のとおり、地域における部活動の受け皿として、スポーツ少年団へ運営を委託することもあり得ると考えます。なお、教員が委託先の一員として指導する場合は、本人の希望であり、かつ兼職兼業の許可などの課題もございます。</p>
4	<p>「基本方針1 みんなのスポーツ」により、那珂市が一生涯にわたるスポーツを進めていくうえで、スポーツ少年団と市体育協会傘下の連盟・専門部（社会人）は連携すべきである。また、スポーツ少年団と中学校運動部活動がつながり、さらに、高校生、大学生、社会人となって少年団の指導者として活動を継続することで、スポーツを持続できる環境が整う。行政の補助を検討してもらいたい。</p>	<p>地域の中で、幼少時から成年期まで一連のスポーツ活動の環境が整備されることは重要と考えます。現在も、市体育協会に対する運営費の補助を通じて、市スポーツ少年団も含めた傘下の団体への支援につながっているものと認識しております。地域のスポーツ環境の充実に資するよう、有効にご活用いただきたいと思います。</p>
5	<p>高齢者でもできるスポーツの提供やルールを作ることで、スポーツは持続可能となる。市体育協会の連盟や専門部が中心となって、各スポーツを維持するための活動を積極的に進めるのがよい。</p>	<p>市体育協会は、那珂市のスポーツ推進の中核です。高齢者も含め、すべての世代がスポーツに親しめる環境づくりのため、今回の「那珂市スポーツ推進計画」の策定を契機として、今後さらなる連携を進めてまいります。</p>